

月刊 サンエスウォッキング

Vol.78

リッチャー / バイクロア / 総合カタログ

RITCHEY Design Marketing Manager

Fergus Liam Tanaka 氏

水野学園 東京サイクルデザイン専門学校 訪問

►アメリカのリッチャーデザインでマーケティングから製品開発までを行うフォーガスさんが、ショップさん交流とバイクロアに参加などのため来日され、合間に縫って自転車の専門学校である水野学園 東京サイクルデザイン専門学校を訪問されました。学校ではトークセッションを行い、40年近いリッチャーと日本の歴史を皆さんに話をし、フォーガスさんからは皆さんにリッチャーの物作りの具体的な話やその精神と近々の製品についてお話しいただきました。

►フォーガスさんは 2022 年トラックマスターズ世界戦ポイントレースで優勝され、2023 年には「パリ～ブレスト～パリ」を 66 時間で完走する熱心なサイクリストであり、トム・リッチャー氏の右腕として設計にも拘る有能なスタッフ。最近日本でも発売した世界限定 100 台のトラック「GARDEN CITY」や長距離ライドの「MONTEBELLO」は、彼のトラックやスーパーロングライドでの経験をもとにトム・リッチャーと設計したモデルとのこと。

►トーク後には生徒の皆さんから活発な質問もあり、また学校の素晴らしい施設を見学され、フォーガスさんも日本の自転車文化がこのような若い皆さんとともに発展していくことを願っていました。



▲トム・リッチャーが 1986 年頃に製作した貴重な名品「Annapurna アンナプルナ」を持つフォーガスさんと学校の皆さん。



▲活発な質問にも丁寧に答えるフォーガスさんには、若い生徒さんから直接英語での質問も複数あり、時間がいくらあっても足らない状況。



▲学校長の今野真一氏もトム・リッチャーをリスペクトする一人



▲トラックモデルの「Garden City ガーデンシティー」



▲現代版ランダナーと言える「Montebello モンテベロ」



▲バイクロアの時には KURU にも寄ってくれてはじけるフォーガスさん

秋ヶ瀬の森 バイクロア 14

SWEET or BITTER ARAKAWA GRAVEL

Presented by OnebyESU & KURU

街近く・・・されど見慣れぬ姿の荒川、その河川敷を極上のグラベルルートで冒険する・・・バイクロアのグラベルサイクリングツアーを今年もサポートしました。スイートはファミリー参加可能なグラベルライド、ビターは荒川流域の未舗装を堪能する本格グラベルライド。初参加の殆どの方が驚かれる街近くの異空間グラベルロードが荒川河川敷にあります。そんな人知れない空間を熟知する「ArakawaOutback」スタッフがライドツアーを先導するバイクロアイベントを「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」の荒川沿線仲間として応援しています。



▲家族連れも楽しく参加できるスイートライド



▲途中に「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」の KURU でソフトクリームを食べられる設定。募集すぐに定員に達する人気ぶりでした。



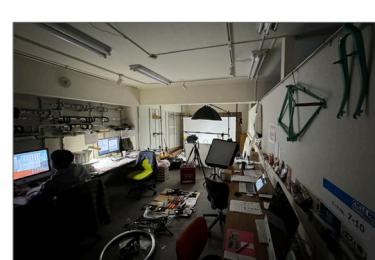
▲写真はスイートライドでのショットですが、本格グラベルを秋ヶ瀬出発で堪能できるとあって健脚さんも満喫できる河川敷のグラベル区間。荒川河川敷のグラベルは隠れ名所と言えますね。



▲出展ブースでは晴天の中、ほぼ全ての試乗車を用意するとともに KURU グッズの販売も行い、多くの皆様に立ち寄っていただきました。会場と KURU をハシゴする方も多数。

東京サンエス総合カタログ VOL.31

社内で社員たちが殆どを制作する総合カタログも今回で 31 号となります。只今制作の最終段階、新年 1 月 25 日に発行され、同日開催の「2025 ハンドメイドバイシクル展」と「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」の「KURU/UX」で配布開始となります(KURU/UX は雨天時など休業、詳しくは KURU の X (旧 Twitter) などで)。



▲多くの PC を並べて本社で取り組んでいます。一つ一つの積み重ねが 200 ページ近く、2000 点以上の商品を網羅するカタログとして定着するに至っています。



▲撮影も社内で行いますが、自転車は 7.5m 以上離れたところから撮るのが理想とも言われていますので、パーツ撮影よりも広い空間が必要になります。

● 次回、月刊サンエスウォッキング Vol.79 は通常より 1 週遅い 2025 年 1 月 17 日 (金) の配信予定です。